

ライブラリの構成

Note

このページでは、機関内の図書館間のサービス、通過時間ルール、リソース共有など、フルフィルメントのために図書館を構成する方法について説明します。

フルフィルメントに関するすべての主な文書ページへのリンクは、[フルフィルメント](#)をご覧ください。

機関内の図書館間のフルフィルメントサービスの設定

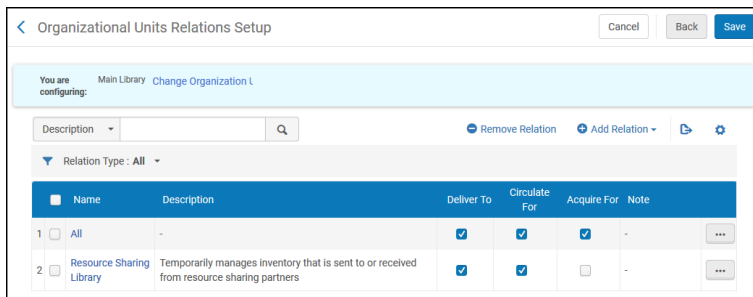
フルフィルメント関係を設定するのは、次のいずれかの役職でなければなりません。

- 一般システム管理者
- フルフィルメント アドミン

[図書館と場所の管理](#)に関する動画を視聴してください。

フルフィルメント関係は、ある図書館が同じ機関内の別の図書館に対して実行できるサービスを定義します。フルフィルメントネットワークとの連携については、[フルフィルメントネットワーク](#)を参照してください。

[組織単位の関係のセットアップ]ページ ([設定メニュー]> [一般]> [図書館]> [関係]) でフルフィルメント関係を設定します。



Name	Description	Deliver To	Circulate For	Acquire For	Note
All	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-
Resource Sharing Library	Temporarily manages inventory that is sent to or received from resource sharing partners	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-

組織単位の関係のセットアップページ

Note

[フルフィルメント設定]ページの設定フィルタから必要な機関/図書館を選択して、関係をセットする機関/図書館を確認します。

このページでは、次のアクションを実行できます。

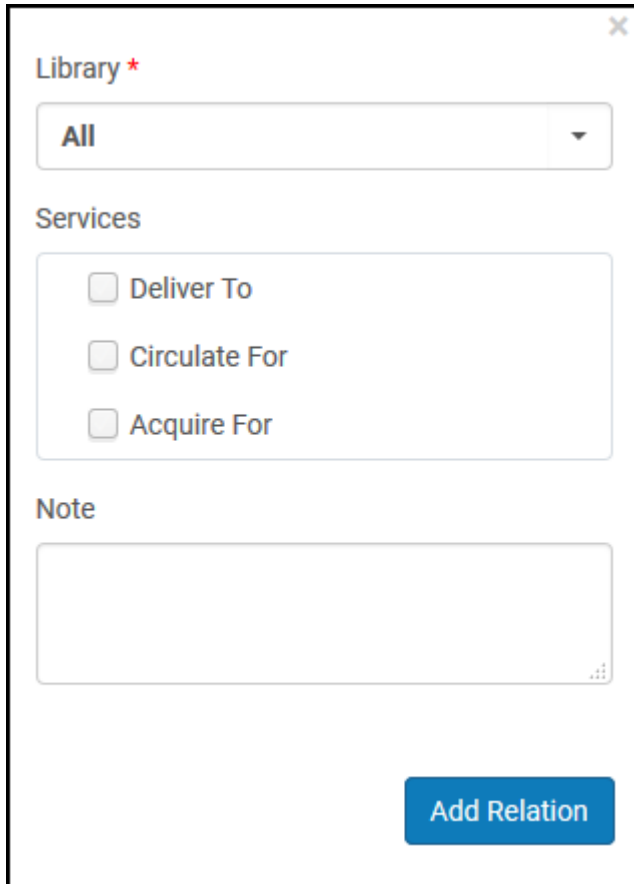
- 組織単位の関係の追加 ([組織単位の関係の追加](#)を参照)
- 組織単位の関係の編集 (行アクションリストから編集を選択)
- 組織単位の関係の削除 (行アクションリストから削除を選択)

図書館関係の追加

組織単位の関係を追加できます。

組織単位の関係を追加する場合：

1. [組織単位の関係のセットアップ]ページ ([設定メニュー]> [一般]> [図書館]> [関係]) で、関係の追加を選択します。[図書館関連アセットの追加] ダイアログボックスが表示されます。



図書館関係の追加ダイアログボックス

Note

関連アセットを作成する際に [図書館] のドロップダウンリストで [すべて] を選択した場合、この選択は、関連アセットの作成時にのみ適用されます。

-
2. 図書館ドロップダウンリストから、設定する図書館からサービスを受け取る図書館を選択します。
 3. 設定している図書館が上で選択した図書館に提供できるサービスを選択します。
 - 。 取得する（図書館レベルと教育機関レベルの両方で利用可能） — 設定している図書館は、指定された図書館のアイテムを取得できます。これは、注文明細所有者として設定している図書館で注文明細を作成でき、注文されたアイテムは指定した図書館のものである可能性があることを意味します。
 - 。 貸出・返却（図書館レベルでのみ使用可能） — 設定している図書館は、指定された図書館のアイテムを貸出および返却することができます。このオプションが選択されておらず、別の図書館によって貸出または返却が試行さ

れた場合、アクションのブロックが適用される場合があります。ブロックプレファレンスの詳細については、[ブロックプレファレンスの設定](#)を参照してください。

- 。 配送先（図書館レベルでのみ利用可能）-設定している図書館は、リクエストされたアイテムを指定された図書館に配送できます。
- 。 提供元（図書館レベルでのみ利用可能）-設定している図書館は、リソースシェア図書館にアイテムを提供できます。提供元関係を設定する図書館は、[リソースシェアILL（受付）タスクリスト]ページ（リソースシェアILL（受付）の管理を参照）のILL（受付）の利用可否情報、およびリクエストのフルフィルメントオプションを管理するときに[リソースオプションの管理]ページに表示されます（[フルフィルメントオプションの管理](#)を参照）。

Note

これらのサービスオプションのいずれかに対してすべてを選択すると、設定されている図書館/機関がすべての図書館にサービスを提供するか、機関内のすべての図書館からサービスを受入できます。サービスに対してすべてが選択されているが、個々の図書館の値が異なる場合、図書館の選択が優先されます。

-
4. 追加して閉じるを選択して、ダイアログボックスを閉じます。定義した関係は、[組織単位の関係のセットアップ]ページの図書館の関係にリスト表示されます。

通過時間ルールの設定

通過時間ルールを設定を行うには、次のいずれかの権限を持っていないければなりません。

- 。 一般システム管理者
- 。 フルフィルメント管理者

通過時間ルールにより、Almaによってフルフィルメントリクエストの予想配達時間が計算されます。アイテムのリクエストが受信されると、リクエストされたアイテムのロケーション、受け取りロケーション、場合によってはアイテムの資料タイプ（たとえば、特大サイズのアイテムをある図書館から別の図書館へ移動する場合、平均サイズのものよりも時間がかかる場合があります）にもとづいて移動時間を考慮するために、フルフィルメント通過時間ルールの確認が行われます。Almaは必要な受け取りロケーションに最も早く到着することが予想されるリクエストアイテムのコピーを見つけるために、通過時間ルールを用います（[棚での受け取り書架で受け取り、Almaはどのようにしてリクエストを満たすコピーを「選択」するのか?を参照](#)）。

通過時間ルールのいずれも満たされない場合の配送時間を定義する、デフォルトの通過時間ルールがあります。このデフォルトのルールは変更可能ですが、すぐに使用できるように12時間の配送時間にセットされています。新しい通過時間ルールを定義する場合、ルール適用時のシナリオの推定到着時間（ETA）を計算することにより、ルールをテストできます。詳細については、以下のリソースの推定到着時間を計算するにはを参照してください。

各通過時間ルールは、有効または無効にすることができます。デフォルトでは、新しいルールはそれぞれ有効になっています。

Note

トランジット規則が考慮されない状況については、「[Almaリクエストは、利用可能なアイテムの代わりに利用できないアイテムをランダムに選択します](#)」のナレッジ記事を参照してください。

通過時間ルールページ（設定メニュー>フルフィルメント>[図書館管理](#)>通過時間）から通過時間ルールの設定を行います。

Enabled	Move Up	Move Down	Rule Name	Description	Updated By	Update Date	
<input checked="" type="checkbox"/>			Delivery Rule 1	Delivery from Main Library to Resource Sharing Library	Staff, Ex Libris	04/25/2016	...
<input checked="" type="checkbox"/>	▲	▼	Graduate Library to Main Library	Graduate Library to Main Library	Staff, Ex Libris	04/25/2016	...
<input checked="" type="checkbox"/>	▲	▼	Music Library to Science Library	-	Staff, Ex Libris	02/08/2016	...

Rule Name	Description	Updated By	Update Date	
1 Default Transit Time	Default time of transit 12 hours	Connie Braun	05/02/2012	...

通過時間ルールページ

Note

通過時間ルールは、機関レベルでのみ設定できます。フルフィルメント設定ページの設定フィルタから必要な機関を選択します。

このページでは、次のアクションを実行できます。

- 通過時間ルールの追加（[通過時間ルールの追加](#)を参照）
- 通過時間ルールの編集（行アクションリストから編集を選択）
- 通過時間ルールの削除（行アクションリストから削除を選択）
- デフォルト通過時間ルールの編集（デフォルトルールの行アクションリストから編集を選択）
- 通過時間ルールの有効化または無効化
- 通過時間ルールを優先順に上下に移動します。Almaは、入力パラメータが満たされる最初の（有効な）ルールを適用するため、ルールのリスト内のルールのオーダーは重要です。
- リソースのETAの計算（[リソースの推定到着時間の計算](#)を参照）

通過時間ルールの追加

新しい通過時間ルール（有効化または無効化）を追加できます。デフォルトでは、新しいルールはそれぞれ有効になっています。

計算された配送時間は、リクエストされた資料が受取場所にいつ到着する見込みかを示します。この予測は、リクエストしたユーザーへのサービス提供方法やタイミングに影響を与える可能性があります。場合によっては、特定の時間または日付以降、ユーザーがサービスに興味を示さない場合があります。このような場合、配送時間が長くなると、特定のフルフィルメントオプションが完全になくなる可能性があります。

リクエストされた冊子アイテムの資料タイプとアイテムのソース（差出人）のロケーションも、配送速度に影響を与える可能性があるため、特定のリクエストで利用可能なフルフィルメントシナリオを制限する場合があります。

次のように通過時間ルールを追加します：

1. [通過時間ルール]ページ（[設定メニュー]>[フルフィルメント]>[図書館管理]>[通過時間]）で、ルールの追加を選択します。[通過時間ルールエディタ]ページが表示されます。

Note

既存の通過時間ルールのコピーを作成する場合は、アクションメニューから複製を選択します。ルールをコピーしたら、必要に応じて変更できます。

通過時間ルールエディタページ

2. 通過時間ルールエディタセクションで、新しいルールの名前（必須）と説明（オプション）を指定します。
3. 入力パラメータセクションで、オペレータを指定し、次のパラメータの値を入力します。

- 。 差出人-移行元の組織単位、つまり、アイテムの振替元の図書館または機関。

キーボードの**Ctrl**キーを押しながら関連する値を選択することにより、複数のソース組織単位を追加してルールに含めることができます。

- 。 宛先-宛先-つまり、アイテムの配送先の図書館。宛先ドロップダウンリストには、ソースのロケーションと配送先関係を持つ図書館のみが含まれます。フルフィルメント関係の詳細については、[フルフィルメント関係の設定](#)を参照してください。

キーボードの**Ctrl**キーを押しながら関連する値を選択することにより、ルールに複数の宛先を追加できます。

- 。 資料タイプ-配送するアイテムのタイプを選択します。
- 。 アイテムのロケーション-アイテムの振替元のロケーション内の物理的なロケーションを選択します。
- 。 開始時間-アイテムがソースのロケーションから指定された宛先に発送される時間を入力します。例えば、午前中の方が、午後よりも資料の配送に時間がかかる場合、「開始時刻が12:00以降」というルールと「開始時刻が12:00以前」という別々のルールを設定できます。

Note

スキャンインされたアイテムは通過中の時間が分かっていますが、リクエストを満たすために最も近いアイテムを計算するためにシステムが使用できるスキャンイン時間は分かっています。したがって、システムがリクエストを満たすために使用できる最も近いコピーを計算するとき（[書架で受け取り](#)を参照）、開始時刻のないルールを使用します。つまり、開始時刻は「*時」に設定されています。

4. 出力パラメータセクションで：

- 。 配送時間（時間単位） - 指定された入力パラメータが満たされる場合に、資料の配送にかかる時間。
- 。 置ききリクエストの受取計算に使用する — このチェックボックスを選択すると、リクエストを実行するのに最適な資料を選択する際に、このルールが考慮されます（[棚からの受取](#)を参照）。このチェックボックスは、

から およびまでのライブラリフィールドが設定され、かつ資料タイプフィールドが任意に設定されている場合にのみ表示されます。デフォルトでは、チェックボックスは選択されていません。

(2026年2月開始) このチェックボックスをオンにすると、配送時間の計算には使用しないでください というチェックボックスが表示されます。このチェックボックスを選択すると、次のようになります：

- このルールは、リクエストを実行するために選択された資料を計算する目的 ([棚からの受取](#)を参照) にのみ使用され、リクエストされた資料が受取場所に到着する時期を計算するためには使用できません
 - からフィールドは場所レベルで設定できます。
- 。取り置きリクエストが作成されたものの、選択された受取場所でリクエストを満たすリソースが利用できない場合、Almaは以下の追加パラメータを使用してリクエストにリソースを照合します：
- Almaが、受け取りロケーションと同じキャンパスにある別の図書館に属するリソースの探知を試みます。
 - 同一キャンパス内にリソースが見つからない場合、複数のリソースがキャンパスの異なる場所に存在する場合、またはキャンパスが定義されていない場合、Almaは「取り置きリクエストの受取計算に使用」チェックボックスが選択されている配送時間ルールを確認します。このリソースにルールが存在し、取り置きリクエストの受け取り計算の使用のチェックボックスが選択されている場合、Almaはこのリソースを選択します。
 - 複数のリソースが通過時間ルールを保持している場合、通過時間が最短のリソースが選択されます。

Note

差出人と宛先

の図書館は、ロケーションの計算で考慮される通過時間ルールにおける唯一の入力パラメーターです。

5. 保存を選択します。定義したルールは、[通過時間ルール]ページのルールリストの下部にリストされます。

リソースの到着予定時間の計算

あるロケーションから別のロケーションに振替されるリソースのETAを計算できます。ETAは、リソースが宛先のロケーションに到着する時間数を示し、ソースおよび宛先のロケーションに対して定義されている通過時間ルールに基づくものです。定義された通過時間ルールのいずれも満たされない場合は、デフォルトの通過時間ルールが適用されます。ETAの計算は、定義されたルールのテストに役立ちます。

リソースの到着予定時間を計算する場合：

1. [通過時間ルール]ページ ([\[設定メニュー\]> \[フルフィルメント\]> \[図書館管理\]> \[通過時間\]](#)) で、ETAの計算を選択します。[ETA計算]ページが表示されます。

ETA計算ページ

2. **通過時間 - 入力**セクションで、計算の入力パラメータを入力します。入力パラメータの詳細については、[通過時間ルールの追加](#)のステップ3を参照してください。
3. **ETAを計算する**を選択します。計算されたETAは、**配送時間**フィールドに表示されます。

通過なしで棚へ戻すルールの設定

通過なしで棚へ戻すルールを設定を行うには、次のいずれかの役割が必要です。

- 一般システム管理者
- フルフィルメント管理者

特定の図書館間で棚へ戻すための通過が必要とされないように、図書館、部署、貸出・返却受付間にリレーションルールをセットできます。これにより、図書館が互いに近接している場合、棚へ戻すためにアイテムが自動的に通過中になることを防ぎ、手間を省くことができます。これは、取り置き棚、ワークオーダー、処理など、他の通過タイプには影響しません。この機能の詳細と例については、[棚へ戻すルールと「通過なし」](#)を参照してください。

デフォルトのルールには入力パラメータがなく、出力パラメータがfalseにセットされており、棚へ戻す時にすべてのアイテムが通過します。

各ルールは有効または無効にできます。デフォルトでは、新しいルールはそれぞれ有効になっています。

通過なしで棚へ戻すルールは、[\[通過なしで棚へ戻すルール\]](#)ページ ([\[設定メニュー\]](#)>[\[フルフィルメント\]](#)>[\[図書館管理\]](#)>[\[通過なしで棚へ戻すルール\]](#)) で設定します。

Rule Name	Description	Updated By	Update Date	
1 Default reshelve without transit rule	Default reshelve without transit rule	Ex Libris	10/04/2018	...

Note

通過なしで棚へ戻すルールは、機関レベルでのみ設定できます。フルフィルメント設定ページの設定フィルタから必要な機関を選択します。

このページでは、次のアクションを実行できます。

- 通過なしで棚へ戻す ルールの追加 ([通過なしで棚へ戻すルールの追加](#)を参照)
- 通過なしで棚へ戻すルールの編集 (行アクションリストから編集を選択)
- 通過なしで棚へ戻すルールの削除 (行アクションリストから削除を選択)
- デフォルトの通過なしで棚へ戻すルールの編集 (デフォルトルールの行アクションリストから編集を選択)
- 通過なしで棚へ戻すルールの有効化または無効化
- 通過なしで棚へ戻すルールを優先順に上下に移動します。Almaは、入力パラメータが満たされる最初の(有効な)ルールを適用するため、ルールのリスト内のルールのオーダーは重要です。

通過なしで棚へ戻すルールの追加

新しい 通過なしで棚へ戻す ルール (有効化または無効化) を追加できます。デフォルトでは、新しいルールはそれぞれ有効になっています。

次のように通過時間ルールを追加します：

1. [通過時間ルール]ページ ([設定メニュー]> [フルフィルメント]> [図書館管理]> [通過ルールなしで 棚へ戻すルール]) で、ルールの追加を選択します。通過ルールなしで棚へ戻す ルールエディタページが表示されます。

Note

既存の 通過なしで棚へ戻す ルールのコピーを作成する場合は、アクションメニューから複製を選択します。ルールをコピーしたら、必要に応じて変更できます。

通過ルールなしで棚へ戻すルールエディタページ

2. 通過ルールなしで棚へ戻す ルールエディタセクションで、新しいルールの名前 (必須) と説明 (オプション) を指

定します。

3. 入力パラメータセクションで、オペレータを指定し、次のパラメータの値を入力します。すべての入力パラメータについて、複数選択できます。

- 差出人図書館-ソース-つまり、アイテムの送信元の図書館。オペレータ (**In List**または**Not In List**) およびこの機関の1つ以上の図書館を選択します。
- 差出人部署-オペレータ (**In List**または**Not In List**) および部署を選択します。差出人図書館で1つの図書館を選択すると、その図書館内のすべての部署が表示されます。差出人図書館で図書館が選択されていない場合、機関内のすべての部署が表示されます。差出人図書館で複数の図書館が選択されている場合、フィールドは無効になり、部署を選択できません。
- 差出人受付-オペレータ (**In List**または**Not In List**) および受付を選択します。差出人図書館で1つの図書館が選択されている場合、その図書館内のすべての貸出・返却受付が表示されます。差出人図書館で2つ以上の図書館が選択されている場合、フィールドは無効になり、受付を選択できません。
- 宛先図書館-宛先-つまり、アイテムが配送される図書館。オペレータ (**In List**または**Not In List**) およびこの機関の1つ以上の図書館を選択します。
- 宛先ロケーション-このフィールドはデフォルトで無効になっています。宛先図書館フィールドで単一の図書館が選択されている場合は、オペレータ (**In List**または**Not In List**) および選択した図書館の1つ以上のロケーションを選択します。

4. 出力パラメータセクションで、次のパラメータを指定します。

- 通過なしで棚へ戻す-指定された入力パラメータが満たされたときに通過なしでアイテムを棚へ戻すルールをセットするには、**True**を選択します。通過ありで棚へ戻されるすべてのアイテムについては、**False**を選択します。
- 棚へ戻すまでの時間(単位は時間)-返却後、棚にアイテムを戻すのに割り当てられる時間(時間または時間の部分。例: 10.5)を指定します。この間、AlmaとPrimoでは、アイテムのステータスが利用可能であり、棚へ戻される前であることをユーザーと司書に示します。この期間が終了すると、ステータスは、アイテムが配置済みであることを示します。

[アイテムを棚に戻す時間](#)の動画(2分07秒)を参照してください。

5. **[保存]**を選択します。定義したルールは、**[通過ルールなしで棚へ戻す]**ページのルールリストの下部にリスト表示されます。

アイテムが所有図書館以外のロケーションにスキャンされると、Almaはこれらのルールをチェックします。アイテムの現在のロケーションとその宛先の間に通過関係がない場合、アイテムは通過中に設定されます。それ以外の場合は、配置済みのアイテムにセットされます。

リソースシェア図書館のパラメータの設定

リソースシェア図書館のパラメータを設定するのは、次のいずれかの役職でなければなりません。

- 一般システム管理者

機関内またはキャンパス内の図書館は、ユーザーが別のロケーションでリソースをチェックインまたはチェックアウトしたり、アイテムを相互に送信したり、相互に代わってアイテムを取得(購入)したりできる関係を持つように設定できます。この設定が、所属機関以外の図書館にも適用されるよう構成されている場合、その図書館は「リソースシェア図書館」

館」と呼ばれます。

詳細な情報については、[リソースシェアライブラリのパラメータの設定](#)を参照してください。

図書館の設定の詳細については、[図書館の追加](#)を参照してください。

SIP2 Bin ルールの設定

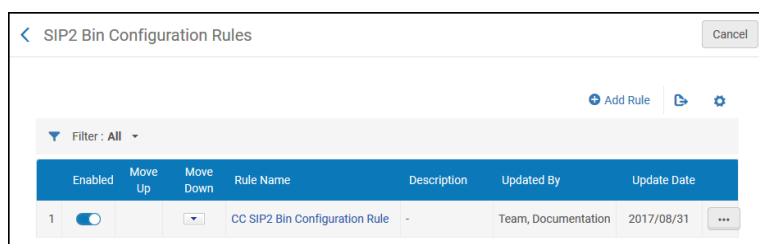
マシンビンの使用ステータスをセルフチェックするルールを設定するのは、次のいずれかの役職でなければなりません。

- 一般システム管理者
- フルフィルメント管理者

SIP2 (セルフチェック) マシンによって返却されるすべてのアイテムには、アイテムが属するソートビンを設定するルールを構成できます。SIP2は、標準交換プロトコルv2であり、図書館の自動貸出・返却システムとセルフチェックマシン間の標準インターフェイスを提供します。ソートビンは、返却アイテムを配置するビン (SIP2マシン内の冊子パケット) を決定するプロトコルのフィールドです。宛先図書館や請求番号など、さまざまな値に基づいたルールに従ってフィールドを設定できます。

セルフチェックマシンの詳細については、<https://developers.exlibrisgroup.com/alma/integrations/selfcheck>を参照してください。

[SIP2ビン設定ルール]ページ ([設定メニュー]> [フルフィルメント]> [図書館管理]> [SIP2ビン設定]) から、マシンビンのセルフチェックの使用ルールを設定します。



SIP2ビン設定ルールページ

Note

セルフチェックマシンビンの使用ルールは、機関レベルでのみ設定できます。フルフィルメント設定ページの設定フィルタから必要な機関を選択します。

このページでは、次のアクションを実行できます。

- SIP2ビン設定ルールの追加 ([SIP2ビン設定ルールの追加](#)を参照)
- SIP2ビン設定ルールの編集 (行アクションリストから編集を選択)
- SIP2ビン設定ルールの削除 (行アクションリストから削除を選択)
- SIP2ビン設定ルールの有効化または無効化

SIP2ピン設定ルールの追加

SIP2ピン設定ルールを追加できます。

SIP2ピン設定ルールを追加する場合：

1. [SIP2ピン設定ルール]ページ ([\[設定メニュー\]](#) > [\[フルフィルメント\]](#) > [\[図書館管理\]](#) > [\[SIP2ピン設定\]](#)) で、ルールを追加を選択します。[\[SIP2ピン設定\]](#)ページが表示されます。

Note

SIP2ピン設定ルールのコピーを作成する場合は、行アクションリストから重複を選択します。ルールをコピーしたら、必要に応じて変更できます。

2. 上部の入力パラメータセクションで、SIP2ピン設定ルールの名前と説明を入力します。
3. 下部の入力パラメータセクションで、入力パラメータのコンポーネント（名前、オペレータ、値）を指定します。入力パラメータのセットは、Destination Library=ArtLibraryのようになります。

使用可能な名前フィールドの値（つまり、SIP2ピン設定ルールをいつ有効にするかを決定する基準）およびそれぞれの値について、次の表で説明します。

SIP2ピン設定ルール-入力パラメータ値

名前	値
宛先の図書館	機関内の図書館。図書館の追加の詳細については、 機関とその図書館の設定 を参照してください。
宛先の貸出・返却受付	貸出・返却受付貸出・返却受付の設定の詳細については、 貸出・返却受付の設定 を参照してください。
宛先のサービスユニット	ワークオーダー部署やデジタル化部署など、機関内の部署。ワークオーダー部署の設定の詳細については、 ワークオーダー部署の設定 を参照してください。
請求番号から	アイテムの請求番号が指定された値よりも数値的に大きい場合に有効にするルールを指定する請求番号。
リクエストされている	リソースがリクエストされたかを示します（はいまたはいいえ）。
辞書式の請求番号から	アイテムの請求番号が示された値よりも辞書式に（つまり、アルファベット順に）大きい場合に有効にするルールを指定する請求番号。たとえば、辞書式オーダーでは2> 10> 1です。
辞書式の請求番号	アイテムの請求番号が示された値よりも辞書式に（つまり、アルファベット順に）小さい場合に有効にするルールを指定する請求番号。たとえば、辞書式オーダーでは1<10<2です。
棚に戻すアイテムのロケーション	アイテムを棚へ戻す機関内の図書館。図書館の追加の詳細については、 図書館の設定 を参照してください。
セルフチェック貸出・返却受付	セルフチェックを実行する貸出・返却受付。セルフチェックマシンと貸出・返却受付の関連付けの詳細については、 セルフチェックマシン を参照してください。
請求番号	アイテムの請求番号が指定された値よりも数値的に小さい場合に有効にするルールを指定する請求番号。

4. パラメータを追加を選択します。入力パラメータのセットが、SIP2ピン設定ルールのパラメータのリストに追加されます。
5. 前の2つのステップを繰り返して、ルールに必要なパラメータをすべて追加します。

Note

ルールを適用するには、すべての入力パラメータが満たされている必要があります。

6. 出力パラメータセクションで、ピン番号（セルフチェックマシンがアイテムを配置するピンの番号）を入力します。この番号が、SIP2マシンで設定されたピンの番号と一致することを確認してください。
7. 新しいルールを保存するために保存を選択します。ルールが[SIP2ピン設定ルールページ]ページに表示されます。
8. 複数のルールを定義した場合は、上へ移動する/下へ移動する矢印を使用してルールのオーダーを設定します。ルールのオーダーは重要です。システムが最初の（そして唯一の）適切で有効なルールを適用するためです。